

Acueil News

令和5年1月号(第107号)
編集・発行
特別養護老人ホームアクイール
広報委員 担当 坂本
我孫子市岡発戸1498
☎04-7165-6511

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、四年に一度のワールドカップカタル大会が開催されました。日本は、強豪スペイン、ドイツを破り、下馬評を覆して「次リーグを一位通過。ノックアウトステージでは、惜しくもクロアチアに敗れてベスト十六という成績で大会を終えました。この成績もすごいことですが、日本は、選手のプレーと共に、サポーターが試合後に観客席のごみ拾いを行なったり、選手のロッカールームの清掃が世界中に感動を与え、日本人の国民性が称賛されていました。中でも、綺麗にしたロッカールームの机の上に、折り鶴と「ありがとう」というメッセージを添え、感謝の気持ちを伝えたことには、世界中が感動していました。五十年ほど遡ると、水前寺清子さんと石坂浩一さんの「ありがとう」というドラマが、お茶の間を賑わせていました。また、「ありがとう」の付く曲は、日本に何百曲とあります。それだけに、日本のありがとう文化は、国民生活に根付いているのだなと思いました。

この「ありがとう」という言葉の反対語は、「当たり前」となります。ありがとうは、「有難し」有ることが難しいという意味です。人間は、何不自由のない生活をしていると、今の状態が、「当たり前」と思って、感謝の気持ちが薄れてしまう生き物のようです。先に挙げた、サッカー日本代表の選手、スタッフの方々は、ワールドカップに出場する重みや、出場できることが「当たり前」と思わずに、今ある舞台を支えてくれているみんなに感謝の気持ちを込めて「ありがとう」を伝えたのだと思います。

日頃より、「ありがとう」の言葉を持ち合わせている人は、人生の充実度や、幸福度が高くなるという説があります。周りを見渡しても、幸福そうに見える人は、感謝の気持ちを持っている方が、多いように感じます。この感謝の気持ちは、人生の先輩方から代々受け継がれてきたものだと思います。私たち職員も感謝の気持ちを込めた接遇に一層力を入れて、利用者、職員共に幸福度が上がる一年にしていきたいと思えます。

今年の九月でアクイールが開設してから九十年を迎えます。人間で例えると小学四年生。二分の一人成人式というでしょう。これも今まで関わってくれた全ての皆様のおかげと感謝しています。まだまだ成長過程のアクイールですので、本年も、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

施設長 渡邊 豊

年末に行われました、餅つき大会。子供たちの元気な応援の元、お供えのお餅を作ることが出来ました。女性も力強くついていますよ！

頑張っ！！

よいしょお

お屠蘇

豪華なおせち料理に、毎年恒例の着物姿の施設長の新年のご挨拶と共に、お屠蘇に回りました。今年も元気に健やかに過ごせますように。

しずく・てまりユニット合同忘年会

「温かい鍋が食べたい」という入居者様のご希望におこたえて、手作り鶏つくね鍋をみんなで作り、食べました。一口目に「おいしい」と大きな声が聞けました。美味しいものを食べる皆様の顔が、私達職員のがりがいです。やっぱり、寒い冬は、鍋ですよ。



鳥つくね鍋

早く食べたいな



わたぼうし・いおりユニット合同忘年会

わたぼうし・いおりユニットでは、ノンアルコールやジュースで乾杯、カラフルなケーキに心弾ませ、みんなでいただきました。普段とは違う様子にご利用者もはしゃいでいます。また、職員と一緒にゲームを楽しみました。久しぶりのゲームに職員、入居者様共に熱くなりましたね。



手加減しないね

ジャンケンばい

乾杯

たまにはいいね



新型コロナウイルス
感染状況について

一月初旬より発生した新型コロナウイルスの感染状況ですが、前回の経験を活かし、保健所の指導及び協力病院と連携しながら対応させていただいています。
現在ゆうぜん・こまち・しずく・てまりユニットのご利用者は一月二十三日時点で療養終了、多床室のご利用者も順調にいけば一月末には療養終了の予定です。
様子観察機間の終了・窓越し及びオンライン面会の再開に関しては改めてご連絡させていただきます。ご心配をおかけしており申し訳ありませんが、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。
ワクチン五回目接種に関して、今回の状況を鑑み二月を予定しています。引き続き、ご利用者の接種券がご自宅に届いている方はアクリールまでお持ち下さい。

生活相談員 服部・金井